|  |
| --- |
| 第２章　大阪の経済 |
| 大阪府内の経済規模を示す府内総生産は、東京都に次ぐ２番目に大きい規模で、世界的にみてベトナムと同程度です。第２章では、大阪経済の概要を把握するために、府内総生産や府民所得等について取り上げます。 |

教えて！Q＆A



資料：内閣府「国民経済計算」「県民経済計算

（注）県内総生産ランキングは、2024年度公表版

|  |
| --- |
|  大阪府内総生産の全国シェアは、増えているの？減っているの？増減しているのは、何が原因なの？ |

 2021年度の大阪の名目（市場価格で推計）府内総生産は41兆3,204億円で、国内総生産の7.5％を占めています（2－2参照）。総生産額では、東京都の113兆6,859億円に次いで、大阪府は全国で２番目に多い都道府県です。

大阪府の府内総生産の全国シェアの推移をみると、戦後から高度経済成長期の1970年度まで、右肩上がりで増加しました。全国シェアの約10％を占めたことから「１割経済」と呼ばれましたが、その後、1990年度頃のバブル経済期を除いて低下傾向が続きました。

大阪府の全国シェアが低下してきた要因には、繊維、一般機械、家電といった製造業の牽引力が低下する一方で、情報通信業などのサービス産業の成長がそれを補うのに十分ではなかったことなどが挙げられます。

全国シェアは、2010年代半ばから下げ止まりの兆しがみられます。

|  |
| --- |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| ２－１特徴 | 全国・主要都府県の経済成長率の推移 |

* コロナ禍から社会経済活動が再開し、2021年度の経済成長率は、実質、名目とも、全国、主要都府県でプラス成長となりました。
* 大阪府の成長率は、実質で2.7％、名目で3.8％となっています。



|  |  |
| --- | --- |
| ２－２特徴 | 全国・主要都府県内総生産の推移 |

・ 大阪経済の全国におけるシェアは2021年度に7.5％で愛知県と同程度のシェアです。

* 大阪経済の全国シェアは、2012年度以降横ばいで推移しています。



|  |  |
| --- | --- |
| ２－３ | 大阪府内地域別の地域内総生産の推移 |

特徴

* 卸、小売店や飲食店などが多く集積する大阪市地域は、府内総生産の半分程度を占めているものの、シェアは徐々に低下しています。
* 2012年度以降、規模の大きい工場が比較的多く立地する北大阪地域と臨海工業地帯のある泉州地域のシェアが徐々に上がっています。



|  |  |
| --- | --- |
| ２－４ | 支出別主要都府県内総生産【2021年度】 |

特徴

・ 大阪府内総生産を支出別にみると、民間最終消費支出が51.2％を占めています。

* 大阪府は、東京都より財貨・サービスの移出入（純）の割合が小さいことが特徴です。



|  |  |
| --- | --- |
| ２－５ | 全国・主要都府県・近畿内総生産の国際比較【2021年】 |

特徴

* 日本の国内総生産は、2021年においてアメリカ、中国に次ぐ世界第３位の規模です。
* 大阪府内総生産はベトナム、近畿の域内総生産はスイスに相当する規模です。



|  |  |
| --- | --- |
| ２－６ | 経済活動別府内総生産の推移 |

特徴

* 医療や介護事業が含まれる「保健衛生・社会事業」の構成比が上昇傾向にあります。
* 「卸売・小売業」の2021年度の構成比は上昇に転じ、コロナ禍からの回復がうかがえます。



|  |  |
| --- | --- |
| ２－７ | 全国・主要都府県の１人当たりの国都府県民所得・国都府県民雇用者報酬の推移 |

特徴

・ 2021年度の大阪府の１人当たり府民所得は305万円と、前年比で6.9％増えました。

* １人当たり府民雇用者報酬も492万円と、前年比で1.6％増加しました。

